



Metals Focus – Precious Metals Weekly

貴金属ウィークリー 第153号 2025年11月28日

排出量

スコープ1と2の排出量は ImplatsとNorthamの増産により前年比1%増で2万1983 kt CO₂e。

安全

2024年の死亡事故は31件に増え、PGM 鉱山の生産活動のリスクが浮き彫りに

企業統治

政府への支払いは、バスケッ
ト価格の下落で収益減、前年
比で27% 減って39億ドル

『PGM ESG Focus 2025』の発表

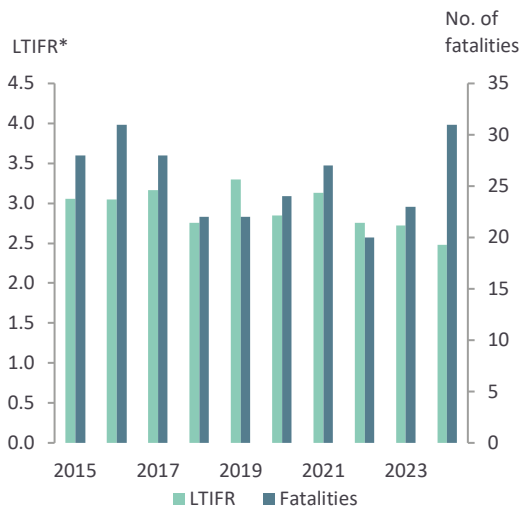
PGM生産会社の環境・社会・企業統治（ESG）に関する年間レポート、『PGM ESG Focus 2025』が、11月25日に行われたウェビナーで発表された。これは2015年から2024年を対象期間として世界の PGM 生産の94%以上を占める大手の PGM 生産会社5社を ESG の観点から幅広く分析したもので、本稿では同レポートの主要点を紹介したい。

PGM 鉱山会社のスコープ1と2を合わせた2024年の温室効果ガス排出量は増加

今年のレポートで取り上げたPGM 生産会社のスコープ1と2を合わせた温室効果ガスの排出量は 2万1983 ktCO₂e となった。前回から変化した背景にはエネルギー供給源、操業の安定性、生産プロファイルなどがある。南アフリカでは電力供給が改善されて操業が安定しエネルギー効率も向上した一方で、電力料金の上昇が続き、代替電力の調達が増えた。Nornickelなど、低炭素あるいはより信頼性の高い電力の供給が可能な生産会社は、消費電力の軽減や水力発電による電力購入契約などによって排出量の大きな軽減に成功した。

一方で、排出量が増加した生産会社は効率が低下したからではなく、RBPlat と合併したImplatsや Northam などのように、生産量の増加によって電力消費量が増えたことによる。2024年は、生産会社の排出量は電力源の選択と操業が中断せず安定して行えるかどうかという点によって大きく左右されることが改めて明らかになったと言える。排出量をさらに軽減するためには電力供給の脱炭素化と代替電力の普及が不可欠となるだろう。

死亡事故総数と平均 LTIFR



*100万時間当たりの休業災害の頻度
社員と契約社員の死亡
出典: 各社報告書、メタルズフォーカス

2024年の死亡事故は8年ぶりの高い水準に

2024年のPGM生産会社の安全に対する実績は、地下深い鉱区で行う労働集約型の採掘作業に伴うリスク、操業安定性、組織的な管理体制の徹底などに大きく左右された。2024年は死亡事故が31件発生した。中でもImpala RustenburgでのShaft 11を含む複数の重大な地下鉱山事故が起こり、不安定な岩盤や採掘作業を行う場所の制約、そして移動式機械との接触リスクといった課題が浮き彫りになった。生産会社はこれらの事故を受けて安全対策と管理体制の強化、作業手順遵守の徹底、安全行動の徹底などに取り組んだ。死亡事故は増えたものの、休業災害度数率(LTIFR)の平均は前年比9%改善されて2.5になり、監視体制の強化や重要管理項目をより徹底して実施する姿勢や労働時間の効率的な管理などが功をなしたと言えよう。

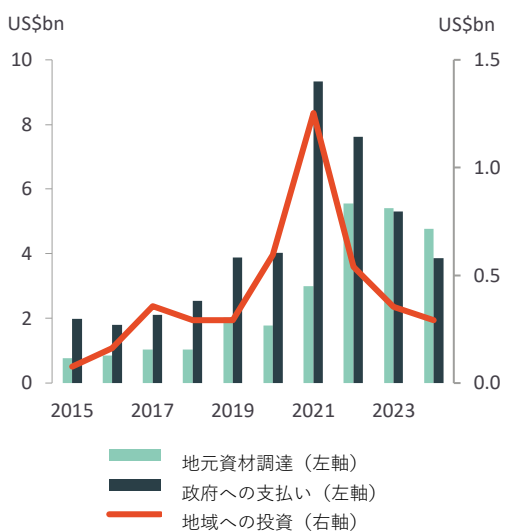
より広義の労働衛生面においても重点的な適時介入や医療インフラへの投資などが効果を挙げた。企業統治面では安全に対するリーダーシップの責任が強化され、安全リスクが運営計画により明確に組み込まれるようになった。

PGM バスケット価格の下落により、政府への支払いは前年比27%減って39億ドル

2024年の社会な企業統治はPGMバスケット価格の急落に大きな影響を受けた。バスケット価格の下落によって利益率が圧迫され、税金の負担、調達や地域プログラムへの貢献度が低下した。収益とロイヤルティーの減少を反映して政府への支払額は前年から27%減って39億ドルだった。しかし、給与に関連する税金の支払いが増えた生産会社もある。地域での調達はメタル価格の下落を受けて設備投資が減ったために、前年比マイナス12%の48億ドル、増えたのはNortham一社だった。地域開発への支出も前年比マイナス17%の2億9300万ドルとなり、Nornickelの支出は半減した。しかし南アフリカの生産会社は支出を増やし、シバニエ・スティルウォーターが7850万ドルで首位となった。

人材開発面では着実に進展が見られ、女性の雇用比率が全体の22%、シニア職における比率も多く多くの企業で改善が見られた。企業統治体制も強化され、ESG監督機能の拡充、国際的な報告基準の採用、社会的・地域的な目標達成を経営陣の評価に取り入れる動きが進んだ。

支出の種類

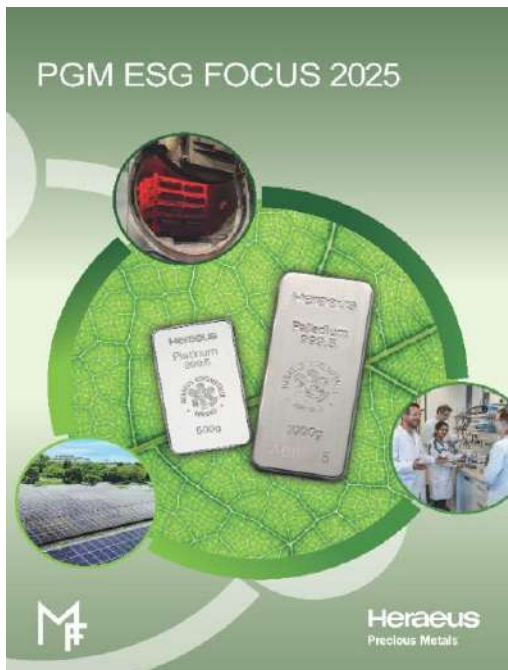


出典: 各社報告書、メタルズフォーカス

メタルズフォーカスについて

メタルズフォーカスは世界でも屈指の貴金属コンサルティング会社。ゴールド、シルバー、プラチナ、パラジウムのマーケットリサーチを専門とし、定期的なレポートや需給及び相場予想、特定の要望に応じたコンサルティングを提供している。

メタルズフォーカスのレポートとコンサルティングは、高度なデータ分析と詳細な現地調査の両方をもとにしたリサーチに基づく。我々のアナリストは頻繁に主要マーケットに赴き、メーカーからエンドユーザーまでを含めた関係者に取材をして直接入手した情報をレポートに役立てている。



『PGM ESG FOCUS』について

このレポートでは2015年から2024年の期間を対象とし、世界の PGM 生産の 94%以上を占める大手生産会社 5 社に対して、ESG の観点から幅広く分析を行い、読者が各社の ESG に対する取り組み、及び業界全体の取り組みについてよりよく理解できることを目指した。

対象となった PGM 生産会社は、Impala Platinum、Norilsk Nickel、Northam Platinum、Sibanye-Stillwater、Valterra Platinum。

レポートおよびサービスについては下記までお問い合わせください。

Charles de Meester, Sales Director
charles.demeester@metalsfocus.com,
Tel: +44 (0)7809 125 334

Neelan Patel, Regional Sales Director
neelan.patel@metalsfocus.com,
Tel: +44 (0) 7783 448 891